

スジグロベニボタルを採集

足立義弘

1982年7月18日、兵庫県村岡町鉢北高原の先大沼で、筆者はスジグロベニボタル *Pristolytus saguratus* Gorham を3exs. 採集した。さらに1983年7月10日には、谷角素彦氏が同所で2exs. を、同年7月12日には、筆者が同所で6exs. を、また下の大沼で2exs. を採集した。

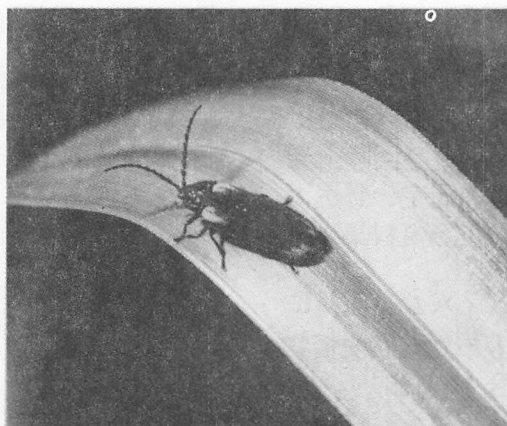
スジグロベニボタルは、以前はベニボタル科に属していたが、現在ではホタル科とされており、オバボタル亜科、スジグロベニボタル属に属し、光らないホタルである。分布については、『ホタルの観察と飼育』（中根猛彦、大場信義、ニューサイエンス社）によると、“原産地は北海道のジュンサイ沼であるが、北海道のほか本州中部以北の山地でも採集され、また京都北部の芦生でも暗化した個体が得られており、千島からの記録もある”とあり、近畿では稀な種であるようだ。

さて、他に兵庫県、さらに但馬での記録があるかどうか、今のところさだかではない。しかし、中部地方から遠くはなれ、京都の芦生を含む山塊とは異なる中国山地の東端に位置する、鉢北で採集できたことは興味深いことである。

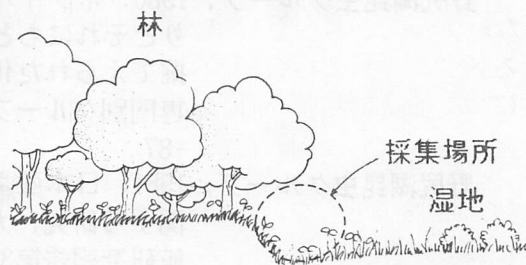
採集地の環境は、沼地を取り巻く林縁部の草地であった（図参照）。多くが直射日光のあたらない草の葉上に止まっており、飛翔している個体も見られた。林内や日当たりのよい沼地内では見られなかった。

この虫は、生きているとき、鞘翅の縁は鮮やかなピンク色をしているが、標本にすると色あせて、やや薄くなる。

なお、このスジグロベニボタルの同定にあたって、大阪市立自然史博物館の宮武頼夫先生と、同先生を通して、名古屋女子大学の佐藤正孝教授にお世話になった。両先生に厚くお礼を申しあげたい。



スジグロベニボタル
(鉢北高原先大沼で)



スジグロベニボタルの生息場所